

2024 年度イラク・小児がん支援事業支援報告



■実施地域：イラク共和国クルド自治区

■支援対象者：小児がん患者、患者家族、貧困患者家族

概要

1. 病院への医薬品支援及び医療支援

クルド自治区内の病院からの要請に基づき、抗がん剤やがん治療に必要な医薬品支援及び骨髄移植の子どもに付き添う医師の交通費の支援を実施した。病院から保健省へのリクエストから病院への納入まで半年ほどの時差があることが分かっており、配給量もリクエスト通りに納品されることはないため、JIM-NET は治療に必要な医薬品と子ども用のミルクを医師と相談の上、2 回に渡り迅速に支援することが出来た。

また、イタリアで骨髄移植を受ける子どもの付き添いのため 2 名の医師の旅費支援を行い、医師は骨髄移植後の治療やケアに必要な研修を受けることができた。

医薬品支援：アルビル県ナナカリ病院 6,800USD、スレイマニア県ヒワ病院 5,000USD

医療支援（旅費支援）：ドホーク県ジン病院 2,400USD

合計：14,200USD (2,130,000 円)

2. 貧困患者支援

病院に在庫していない医薬品を外部の薬局で購入するための購入支援及び病院に通院するための交通費支援に加え、高額な検査費用の一部を支援した。24 年 7 月末からはイラク国内避難民キャンプ閉鎖が相次ぎ、元々経済的な貧困状態にあった患者家族の生活はより困窮し、医薬品購入や病院までの交通費の支援を必要とする患者家族も多かった。月の予算は地元の患者へ 2,500USD、国内避難民・シリア難民の患者へ 2,000USD で対応したが、いずれも月初より 10 日前後で底をついてしまう状況が近年続いている。また、PET 等の高額な検査については、国内避難民やシリア難民に対しては一切の補助金がなく全額負担となるため、検査費の支援については、国内避難民・シリア難民の患者への支援をより強化して実施した。

貧困患者支援：54,000USD 検査費等支援 12,800USD

合計：66,800USD (10,020,000 円)

3. 心理社会的な支援

JIM-NET ハウス 3 階の宿泊施設では、一日の平均約 12 人が利用し、年間の利用者の延べ人数は 4,293 人となった。宿泊サービスは経済的、身体的、精神的な支えとなり、開所以来ニーズの高いサービスとなっている。小児科の待合室でもアクティビティを実施しており、外来患者に遊びの場を提供するなどケアにあたった。また、ピアサポートグループを 3 回実施し、30 名の患者家族が参加し、患者家族が持つ悩みなどを共有した。正しいがんの知識、抗がん剤による影響や副作用について伝え、サバイバーの保護者からの体験談を聞く場も設けた。今後は男性グループによるセッションを、専門家と共に計画を進めている。